

貧困者自身による生活環境改善を目指す取り組み  
タイにおける公共機関 CODI の事例報告

2004年8月10日(火)  
住宅都市国際協力研究会  
発表者：中村真珠<sup>1</sup>

CODI (Community Organizations Development Institute : 「コミュニティ組織開発機構」)  
...タイ政府の社会開発生活保障省に属する公共機関。タイ全土の都市・農村の貧困コミュニティにおける生活環境改善、コミュニティの住民組織のネットワークの強化を目的に活動している。コミュニティの住民自身による経済・福祉・環境活動のサポート、主に都市スラムにおける土地や住宅問題の解決に取り組む。行政その他あらゆる公共セクターとのパートナーシップを築き、市民社会形成を視野に入れている。

## 1. タイの都市貧困に関する背景と行政の対応

### 1-1. タイにおける都市貧困について

#### 1) 貧困コミュニティとは

- ・ スラム...居住環境の物理的悪化を示す概念。「過密」「老朽」「不良建築」  
タイにおける行政政策上での定義：「1ライ<sup>2</sup>に30戸以上の荒廃住宅が密集している地区」  
他、スラム研究者は15戸以上の地区を対象とするなど、さまざま。

#### 2) 貧困コミュニティの抱える問題

- ・ 法的に借地契約があるスラム
- ・ 借地契約がないスラム(スクオッター地区・不法占拠地区)  
「バンコクのスラムのうち61%が私有地、25%が公有地、14%が私有地と公有地の両方に跨ると言われている。また、スラムの30~40%は立ち退き圧力の下にある<sup>3</sup>」  
地主との借地契約なし = 市民としての権利が与えられない  
「住宅登録 家屋番号の取得 住所の決定、出生登録・身分証明書の発行」

### 1-2. 行政の対応の変遷 (参照：新津、270頁・275頁)

#### 1) スラム問題 = 住宅問題としての位置づけ

実施主体：国家住宅公社<sup>4</sup> (National Housing Authority : NHA)

バンコク都庁 (Bangkok Metropolitan Administration : BMA)

対応：

撤去移転方式 (relocation) = スラム撤去・低所得者向け住宅建設、福祉アパートへの移転  
高い家賃、職場から離れてしまうため交通費の負担の発生、などから解決に至らず。

#### 2) スラム地区改善

サイト・アンド・サービス方式 (site and services)、土地分有方式 (land sharing)

区画整理方式 (reblocking)、再開発方式 (reconstruction) など

<sup>1</sup>上智大学大学院外国語学研究科地域研究専攻修士課程1年

<sup>2</sup>1ライ = 1600 m<sup>2</sup>

<sup>3</sup>田坂敏雄「土地領有史序説」『アジアの大都市Iバンコク』日本評論社、1998年、99頁。

<sup>4</sup>内務省福祉住宅室、政府住宅銀行、バンコク都庁内コミュニティ改善事務局を合併し設立。

## 2. UCDO の設立、CODI への発展

### 2-1. UCDO の設立

- ・ 1992 年、UCDO (Urban Community Development Office 都市コミュニティ開発事務局)の設立
- ・ 「都市貧困層開発基金」(政府からの当初資金 12.5 億バーツ=約 50 億円:当時)の運営事務局として、NHA の管理下に発足。
- ・ コミュニティを基盤とした貯蓄グループによる、住環境改善・収入向上・環境改善・コミュニティビジネス・コミュニティ福祉の活動に対し、コミュニティに直接ローンの貸し付けを行なう。
- ・ あらゆる利害関係者をまとめる調整役となる - 上級政府官僚、研究者、コミュニティ代表者から構成される CODI 委員会  
基金の運営 プロジェクト

### 2-2. UCDO から CODI へ

- ・ 2000 年、UCDO と「農村開発基金」を統合し、農村・都市の両方における貧困問題解決を担当する CODI へと改組。同時に NHA から独立した公共機関となる。
- ・ 個々の貯蓄グループの支援から、貯蓄グループのネットワークを支援する形へと拡大。  
コミュニティ住民自身による学びあい・交流の場を積極的に創出。  
「都市計画」ではなく「まちづくり」
  - ・ 都市計画 = ブループリントを本質とする  
「既定の目標や指標の達成のために還元主義的に資源を操作できると考える」
  - ・ まちづくり = プロセス思想に基づく  
「個々の主体のストーリーの展開が相互作用を通じて都市を形成する」<sup>5</sup>

## 3. ビデオ上映 「Baan Mankong<sup>6</sup>: A house which is more than a house」(23 分)

For poor people, having a house of our own means a lot.  
A house is a source of pride and a strong incentive  
to do further work in developing our communities.

Mrs. Panthip Budtard,  
Community leader

- 1) 過去 20 年間におけるタイの経済社会発展
- 2) スラムのデータ (2000 年の調査による)  
タイの都市 : 5500 の貧困地域 (825 万人) = タイの都市人口の 3 分の 1  
3750 の貧困地域 (114 万家族、513 万人) が深刻な住宅問題を抱える  
その内、445 地域が強制立ち退きに直面している
- 3) 政府の対応
- 4) 近年の動き
- 5) 過去 5 年間の地域主導の開発プロセス
- 6) バーンマンコンプログラムの紹介

<sup>5</sup> 穂坂光彦「草の根の居住運動とまちづくり技術交流」『都市計画 248』2004 年、54 頁。

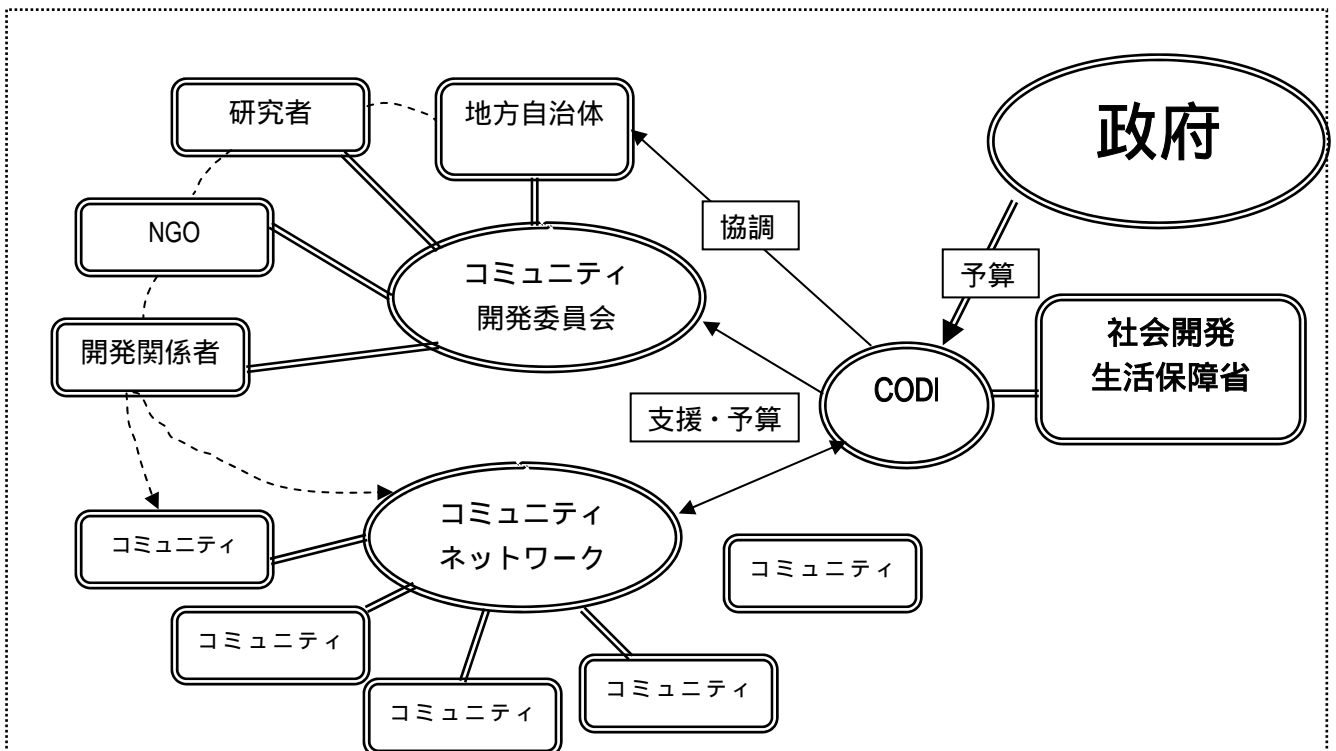
<sup>6</sup> タイ語でBaanとは【家・家屋・住宅・家庭・村・郷・部落】を意味し、Mankong【しっかりした、安定した、穏健な】を意味する。

#### 4 . CODI の取り組み Baan Mankong Program (「安定した住まい」計画)

2003 年より 5 年間でタイ全土のスラム地区改善、主に土地所有権の問題解決を行う計画。CODI はタイ政府の社会開発生活保障省とコミュニティとをつなぐ、ファシリテーターの役割を担う。政府系機関として国からの予算を直接地域に充て、地域の計画や提案により、全体的な学びと協力関係が築いていけるように配慮する。

地域事業を、トップダウンではなく、住民・地方自治体・開発事業体・土地所有者などの関係者との協力関係において進め、住民自身がプロジェクトを計画・主導しコミュニティーで運営していく。それぞれの地区にあった改善事業を住民たちが話し合いながら計画し、CODI がサポートしながらつくっていくというもの。

図 1 BMP 機能における各関係者との関係図



(CODI 資料[2003c]より報告者作成)

表 1 : タイ全土のスラム数

	市/区数	コミュニティ数	世帯数	人口
バンコク都	46	1200	227,000	1,135,000
周辺 5 県	22	865	172,900	864,500
北部	65	1040	283,200	1,416,000
東北部	79	1320	345,000	1,728,000
中部	80	740	166,900	834,500
南部	35	365	85,000	425,000
<b>合計</b>	<b>327</b>	<b>5530</b>	<b>1,280,000</b>	<b>6,403,000</b>

(CODI 資料[2003c]を多少変更、報告者作成)

表 2：2003 年度パイロットプロジェクト（10 地区）

コミュニティの名前	都/県	世帯数
クローク村	ナラティワート県	310 世帯
ガオセン	ソクラー県	450 世帯
チャルンチャイニミットマイ	バンコク都	89 世帯
ボンカイ、クロントゥーイ	バンコク都	202 世帯
ブンクック	ウタラディット県	124 世帯
ブロック 7 - 12、クロントゥーイ	バンコク都	115 世帯
ガオパッター	バンコク都	29 世帯
ルアムサマキ	バンコク都	90 世帯
クローンラムヌン	バンコク都	49 世帯
レームルンルアン	ラヨーン県	67 世帯
<b>合計 10 コミュニティ</b>		<b>1525 世帯</b>

(CODI 資料[2003a]を多少変更、報告者作成)

一家族の月収が 10000B（約 3 万円）以下であるところであり、この数年 NGO や政府機関の支援を得ながら、貯蓄などの活動を既に始めているところ、などさまざまな条件による選考があった。

10 地区のパイロットプロジェクトがリードをとり、少なくとも 20 の地域における環境改善を進める。

表 3：BMP2004 年度における対象スラム数

	都市	コミュニティ数	世帯数	Slum upgrading	Reblocking/Land sharing	Reconstruction/relocation
北部	7 都市	17	2052	1742	72	238
東北部	10 都市	44	4677	2186	1641	850
バンコク都	10 区	64	5493	1900	1623	1970
周辺 5 県	3 都市	4	365	135	-	230
中部	6 都市	31	1555	651	368	536
南部	6 都市	14	1074	696	78	300
<b>合計</b>	<b>42 都市</b>	<b>174</b>	<b>15216</b>	<b>7310</b>	<b>3782</b>	<b>4124</b>

(CODI 資料[2003c]を多少変更、報告者作成)

表 4：BMP 2005 年度～2007 年度における対象スラム数

	都市/区数	コミュニティ数	各年の目標対象数		
			2005 年	2006 年	2007 年
<b>合計</b>	<b>200</b>	<b>1860</b>	<b>600</b>	<b>700</b>	<b>560</b>
バンコク都	31	414	80	160	174
周辺 5 県	21	172	40	105	27
北部	29	233	65	65	103
東北部	53	306	150	125	31
中部	41	489	175	175	139
南部	25	246	90	70	86

(CODI 資料[2003c]を多少変更、報告者作成)

## 5 . まとめ

### ダイナミック / クリエイティブ / Win-Win 状況を導き出す平和的問題解決方法

#### 参考文献・資料

- アキン・ラピーパット著[1987]、「スラム - 問題の所在と解決方法」『アジアにかかる虹』勁草書房。
- 城所哲夫[2001]、「開発途上国の都市貧困地域における住民主導型の居住環境改善事業と計画思潮」『都市計画 234』日本都市計画学会。
- 佐々木康彦「タイ・アユタヤにおけるコミュニティネットワーク活動について」  
<http://members.at.infoseek.co.jp/ebizuka/paper/ayutaya.pdf> (2004年8月9日参照)
- 新津晃一[1998]、「スラムの形成過程と政策的対応」田坂敏雄編『アジアの大都市1 バンコク』日本評論社。
- 穂坂光彦[1994]、『アジアの街 わたしの住まい』明石書店。
- 穂坂光彦[2004]、「草の根の居住運動とまちづくり技術交流」『都市計画 248』日本都市計画学会。
- 松園[橋本]祐子[1998]、「就業構造と住民生活」田坂編[1998]。
- CODI [2003a], *Baan Mankong: phua saang khwaam mankong nai gaan tii yuuaasaai hai khonjon nai chumchon eat*, (Baan Mankong: スラムに住む貧困者の居住の安定をはかるために)。
- CODI [2003b], *Baan Mankong : pheeng patibatgaan phua patthana chumchon eat 2547*, (Baan Mankong: スラムディベロップメントのための行動計画 2004年)。
- CODI [2003c], *Baan Mankong : pheeng patibatgaan phua patthana chumchon eat 2547-2550*, (Baan Mankong: スラムディベロップメントのための行動計画 2004-2007)。
- CODI [2003d], *Raigan Pracampi 2545* (年次報告 2002年)。
- CODI [2003e], *A Decade of Change: From the Urban Community Development Office (UCDO) to the Community Development Organizations Institute (CODI) in Thailand ---Increasing community options through a national government development programme.*